



## ～今後の催物案内～

### 1. ドイツ視察旅行

- 5/19 成田発 デュッセルドルフ着
- 5/20 同市ジャパンデー参加
- 5/21 ライン川～ハイデルベルク
- 5/22 ヴュルツブルク見学
- 5/23 ローテンブルク～ミュンヘン
- 5/24 ノイシュバンシュタイン城見学
- 5/25 ミュンヘン発
- 5/26 成田着

専用バス・添乗員付き・上記日程の一部に参加すれば、他の日程の変更可能

旅費：20名以上で232,000円

詳しくは、090-8003-7595 金谷迄

### 2. 平成18年度総会

日時：6月10日(土)14:30～17:30

場所：西船フローラ (JR 総武線西船橋駅  
徒歩3分 TEL: 0120-262427)

式次第：総会 14:30～15:00

講演 15:10～16:00

講師 常任理事橋口昭八氏

演題 「東ドイツー今は昔」

懇親会 16:10～17:30

会費：4,500円

### 3. 対談「バルトの楽園撮影苦労話」(仮題)

出目昌伸監督と平尾浩三会長

終了後、立食パーティー

日時：6月28日(水)18:30～21:00

場所：OAG 会館(地下鉄青山1丁目下車徒  
歩7分、草月会館裏)

会費：会員 3,500円 一般 4,000円

### 「ドイツに親しむ三日間」を終えて 特集 4

司会進行・バザー担当 布施由未子

私にとってのドイツ年は六本木ヒルズに、ベルリン・ブランデンブルク門の隣の広場にいた熊達がやってきた時から始まった。昨年の「ドイツに親しむ3日間」では、見る側から企画する側が変わり、また違ったドイツを発見し、そして新たなドイツ好きの人達に出会えた。蚤の市に出品して下さった方々、特にトール・ペインティングを描いてくださった西川さん、道野さんの情熱、佐倉のマザー・ムーンさんの子供達に送るドイツ玩具のメッセージなど、心が温かくなるような気がします。尚、今回バザーに出品して頂いた方々は、伊東惇子、加藤和子、木戸芳子、国枝誠昭、熊埜御堂真、島内毅、宗宮好和、内藤敏子、西川珠子、橋口昭八、橋口成、平尾浩三、古川修司、道野真知子、向井舜治、綿貫尚、布施由未子(あいうえお順、敬称略)でした。

### 訃報

奥田智重子(ちえこ)さん(声楽家、元国立音大教授、元千葉県日独協会顧問) 3月6日午前5時31分、急性心不全のため横浜市港北区の病院で死去、90歳。千葉市出身。葬儀・告別式は9日午前11時から港北区菊名2の1の5、妙蓮寺斎場で。喪主は長男で映画監督の土橋亨(どばし・とおる)さん。歌曲・オペラなど幅広く活躍した。放送タレントの永六輔さんは甥にあたる。当協会理事、金子三智子さんは姪にあたる。謹んでご冥福をお祈り致します。

### 「ドイツに親しむ3日間」特集 3

#### ステージオペレーションに就いて チーフ坂本宗秋

今回のイベントに際して舞台裏で活躍したステージオペレーションについて総括してみる。(敬称略)

- I 舞台進行係：古川修司、布施由未子、小野浩、館野鷹二郎、坂本宗秋他、千葉大学生。
- II 担当分野：①上映ドイツ映画の選定、及び映写  
②けやき会館内での式典、講演会、音楽会等開催時の舞台設定、照明、音響、パワーポイントによる案内。
- III 個別分野の総括
  - 1 映画：坂本・古川が担当、東京ドイツ文化センター(OAG)が所有し映写権を保有するドイツ映画借用を考えたがフィルムによる映写がけやき会館では不可能と判明。結局「橋」、「グッバイ・レーニン」の二本を選定しDVDにて映写。前者は(株)IVC社、後者は(株)ギャガ・コミュニケーションズと交渉し、今回の行事の社会的意義を説明し、両社を協賛として明示する事で、予算13万円を節約。映写は千葉大放送研究会の学生に協力を依頼。
  - 2 進行表の作成とパワーポイントによる会場での行事案内、会場・照明、音響等。舞台の照明、音響を効果的に行なう為に進行表の作成をOAGの村田崇夫氏から学び、布施・古川が出演者と綿密な打ち合せを行ない、極めて詳細な表を作成した。それを基に、古川が独力で工夫してパワーポイントにより行事案内等を作成。機器の不備は、進行係全員の努力で克服した。
  - 3 舞台上の机/椅子/マイクなどの配置は小野、館野を中心に照明、音声、音響を考慮しながら、出演者と相談してプログラム毎に決め、舞台に必要な道具類は3・4階から搬送。けやき会館ホールの防音が不完全でピアノ演奏などには、外部の音がホールに入り込み出演者・聴衆には不愉快な思いをさせたケースが発生したのは遺憾であった。以上、係全員が未経験ながら、お互いに協力をして満足できる結果になったと言えよう。